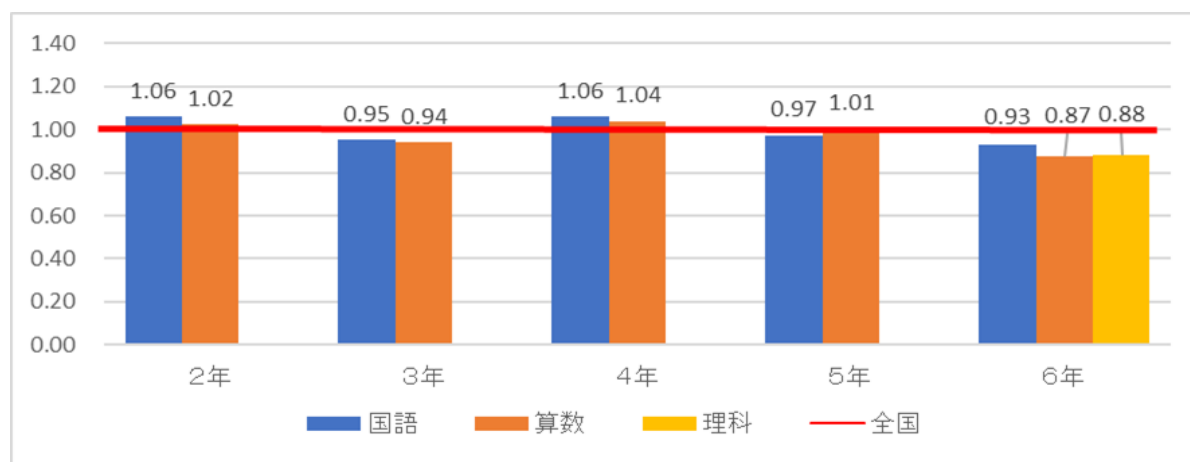


令和7年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 第七中学校区 堀溝小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は寝屋川市学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習到達度調査	国語	本校研究テーマである「話すこと・聞くこと」では概ね全国平均を上回る結果であった。引き続き研究を進めていくとともに、「書くこと」「読むこと」の指導の充実を図る。
	算数	「図形」領域に課題がみられた。低学年の「かたち」の学習から、具体物を使いながら系統立てて丁寧な学習を進めていく。また、国語科で習得したスキルを使い、相手に分かりやすく説明し、理解を深めることができるよう、指導の充実を図る。
全国学力・学習状況調査	国語	「自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉える」設問において全国を上回る結果であった。文章全体から要旨を把握する設問や、文章と図表を結び付けるなどして必要な情報を見つける設問に課題があるため、様々なツールを使って相手の考えをまとめ、自分の考えを伝えることができるよう指導の充実を図る。
	算数	「数と計算」領域は良好であったが、「図形」領域に課題が見られた。図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて説明できるなど、考えを言葉で説明する学習活動の充実を図る。
	理科	電磁石の巻き数による磁力のちがいについての設問で全国値を上回った。今後も、実際に実験をし、結果から考察する活動を行い、学びの定着を図る。
	質問紙	「学校の授業以外に、普段、どれくらい勉強しますか」の質問に、「全くしない」と回答する児童の割合が依然多い。校区の課題と捉え、勉強が好きになり家庭でも学習したいと思う子どもの育成をめざす。

○学力向上の取組

【中学校区】

学力調査から、家庭学習の改善が必要であると見取ることができた。「学習習慣の定着」と「個に応じた学習」を重点として家庭学習ノートの充実を図っていく。また、2学期に各校における実践報告と検証を校区研修会で行う。

【学校】

「きき合い学びを深める国語科学習」を研究テーマとし、2年目の今年は、他教科との教科横断的な活動の中で、友だちの考えを聞き、自分の考えを伝える学習について研究している。研究を進めることで学習意欲が増し、国語科以外の教科においても自分の考えを表現することができるよう取組を進めていく。